



～第2ステージはじまる～
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球

躍動する兵庫へ!

令和4年度

齋藤県政 本格スタート!



第357回定例県議会 予算特別委員会 副委員長に就任 (3月1日～3月28日) 部局審査(企画県民部①・健康福祉部)

企画県民部 (3月7日)

総務課長の役割について

石井 県政改革方針案では、令和4年度から本庁組織を5部から12部に再編することが挙げられている。特に、企画県民部は総務部、企画部、財務部、県民生活部及び危機管理部の5部に再編され、所掌範囲が明確になり、より迅速で円滑な調整が期待される。部長のマネジメントの強化は当然だが、注目したいのは、各部に総務担当課を設置し、官房機能を強化する点である。そこで、総務課長がどのような役割を担うのか?

企画県民部総務課長 総務課は部内の人事・労務管理、施策の企画や総合調整、予算の執行管理等、取りまとめ役。再編後は、部内各課との意思疎通を図り、具体的な施策の企画立案につなげる。さらに、部をまたがる業務への機動的な対応

令和3年4月 (5部)

再編

令和4年4月 (12部)

企画県民部	総務部
企画部	企画部
財務部	財務部
県民生活部	県民生活部
危機管理部	危機管理部
福祉部	保健医療部
産業労働部	産業労働部
農政環境部	農林水産部
県土整備部	環境部
	土木部
	まちづくり部

第357回 2月定例県議会報告 (2月16日～3月30日)

議決案件 令和4年度当初予算
令和3年度補正予算(第8・9号)
・歯と口腔の健康づくり推進条例
(条例化に向け会派要望・提言分)・県議会議員の定数並びに選挙区の一部を
・兵庫県財政運営方針の変更
改正する条例 など計119件

兵庫県議会議員

石井ひでたけ



みるみる通信

いも

日々の活動は
ブログを
ご覧ください

発行元:石井ひでたけ事務所



石井ひでたけ県政報告

Vol.99

2022年 新緑号

令和4年度がスタートしました。齋藤元彦知事が編成した初の予算で、県民ボトムアップ型の新県政が本格的に動き出します。令和4年度予算は、行財政運営方針を見直した「県政改革方針」に基づき、「躍動する兵庫へ～第一歩を踏み出す～」を基本方針にしています。

2月16日に開会した第357回定例県議会で上程され、予算特別委員会で集中審議されました。議員21人で構成し、私は3月1日の第1回委員会で副委員長に選任されました。部局別審査で質問に立つとともに、委員長を補佐し、議事進行・運営を行いました。3月28日の委員会で予算案を可決、30日の本会議で全議案を議了し閉会しました。知事のコロナ感染のため当局側が空席での本会議や会期の延長、行財政運営に関する条例の撤回、再上程など、これまで経験したことがない波乱万丈の43日間の長期にわたる定例県議会となりました。躍動する兵庫への力強い第一歩を踏み出すため、これまで以上に緊張感ある是々非々の活発な議論が展開できたと感じています。

「船が進めば波が立つ」。波乱の2月議会は、まさに齋藤県政が前に進んでいるからこそだと思います。収束が見通せない新型コロナ、ロシアのウクライナ侵攻、その影響がどう地域社会に影響をおよぼすか、など不安は隠せませんが、どんな荒波が寄せようとも、令和4年度が希望に満ちた1年となるよう、果敢に前進してまいる決意です。一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

県庁舎等再整備事業について

石井

県庁舎整備は、有識者等による検討委員会や、県議会においても県庁舎等再整備協議会を設置し、様々な角度から意見し、基本構想や基本計画の検討に反映してきた。このたび、再整備事業を一旦凍結する方針だが、これまでの検討内容のうち一定部分は今後に生かすことができる。また、その逆に全く新たな視点での検討が必要となる部分もある。現庁舎を活用する場合の耐震改修も含め、今後の方針は?

新庁舎整備課長 将来の元町全体のグランドデザインを描く中で、基本構想で示した諸課題に加え、コロナ禍で進んだ多様な働き方への対応などにも留意しながら県庁舎整備の在り方を検討していく。庁舎建替を当面行わない場合、災害発生時の応急対策活動拠点としての機能の発揮、職員の安全確保の観点から、現庁舎の耐震改修を含む対応を早期に考える。

兵庫県立大学の今後の展開

石井

県立大学は、統合前の旧3大学の伝統を生かした教育研究活動こそが強みである。旧3大学のブランドイメージを承継しつつ、将来にわたり選ばれる県立大学であり続けるために、しっかりと大學の柱となる部分を見据えるべき。

新県政推進室長

令和4年度は新設する先端医療工学研究所の運営など、幅広い分野から大学のブランド力向上にしっかりと取り組む方針で、県としてもしっかりと支援をしていく。

健康福祉部 (3月8日)

障害者総合トレーニングセンターについて

石井

令和5年度に開設予定のひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)は、県政改革方針で建設が凍結となっている。多くのアスリートの復帰をサポートする施設としての役割も期待され開設が望まれている。整備にかける意気込みを伺う。

福祉部長 今後、県の財政收支や将来的な財政負担等の検討を行うが、障害者からの期待が非常に大きい施設である。そのことを十分認識しながら、少しでも早く整備に着手できるよう検討を進める。

新型コロナウイルス対策

石井

新年度予算では最優先課題にコロナ対策を掲げている。特に検証やデータ分析を重視する方針が示されていることは評価する。その上で、神戸大学との調査研究や県立病院での治療情報の分析などを迅速に実施につなげていく

感染症等対策室長

大学等専門機関と連携しつつ、科学的な意見や専門家の意見等を施策に活用していくことが必要。将来の要介護リスク予測を行うAIの開発等を目指しているが、コロナに関する情報等も共有するなど、感染症対策への活用も検討する。引き続き大学等関係機関や他部局と連携した取組を通じて、感染症対策のための体制整備の強化を推進する。

子育て支援施策について

石井

令和4年度予算の子ども・子育て施策は、発達障害児等の保育所などへの受入支援など、誰も取り残さないとの知事の思いを受けた事業を打ち出しており、大変評価している。その上で、令和4年度の子育て支援に関するスタンス、加えて、企業主導型保育事業や保育士のスキルアップなどの取組は?

こども政策課長

令和4年度も引き続き待機児童の早期解消に努めるとともに、量の確保だけではなく、保育士キャリアアップ研修や企業主導型保育施設の設施長や従事者を対象とした研修の実施、保育施設への指導監査などによる保育の質の向上も図っていく。市町、子育て支援関係者とも連携しながら、安心して子育てできる兵庫の実現を目指していく。

同意人事 |

・荒木一聰副知事の後任に服部洋平県土整備部長を選任
・西上三鶴教育長の後任に藤原俊平防災監を選任
・松田直人人事委員会委員の後任に田中基康会計管理者を選任 計3件
・学校現場でのネットいじめ防止 など計8件

意見書 |

・感染拡大期を含め保健所機能維持への対策(会派提案分)
・地域公共交通維持のための財政支援の拡充
・学校現場でのネットいじめ防止 など計8件

決議 |

・ロシアのウクライナ侵攻を非難する など計2件



兵庫県自転車競技連盟主催のレースでは激励の挨拶を行い、スターを務めました

県立播磨中央公園で自転車のロードレース大会

3月26、27日の2日間にわたり、県立播磨中央公園で全日本実業団自転車競技連盟と兵庫県自転車競技連盟の併催でロードレース大会が開催されました。県自転車競技連盟の会長として開催に向けて関係団体と調整し、協力しました。初日は、あいにくの雨でしたが、選手は気迫のこもるレースを展開。2日目は天候にも恵まれ、選手たちはさわやかな汗を流していました。

コロナ禍で2年あまり、国体をはじめとした大会などが中止になり、それをを目指して頑張ってきた県内の選手に参加出来る大会を開催し思い出づくりをしてもらいたいとの私の強い思いもあり、また、兵庫県が現在、園路などを自転車専用路として大規模改修して整備中の播磨中央公園でのイベントとして、開催することができました。雨天での大会運営など参考になることも多く、ライフワークの自転車を活用した地域の賑わいづくりに活かしていきたいと考えています。



第357回定例県議会 予算特別委員会（3月1日～3月28日） 部局審査（産業労働部・教育委員会）

産業労働部（3月9日）

当初予算への部長の思い

石井 令和4年度の予算編成は部局長のマネジメントの下、施策のスクラップ・アンド・ビルトの徹底により進めてこられた。産業労働部においては多くの新規事業が創設され、来年度以降の事業展開に大いに期待している。

産業労働部長 予算編成では現場の意見、具体的な課題解決を重視した。特に重視したのは経済成長、成長の源泉となる人への投資。予算執行でもしっかりと目を配る。

ものづくり女子について

石井 神戸市西区では、ものづくり女子のモデル事業に、6企業中2企業が採用された。その進捗と令和4年度の取組は?

工業振興課長 女性活躍の場の拡大につながっている。4年度においては、これまでの知見をセミナーなどを通じて企業経営者に周知し、女性が活躍する職場づくりや女性の就業の促進につなげます。

デジタル人材育成に向けた職業訓練

石井 デジタルスキルを個人が習得できる場を確保する取組は重要である。そこで、離職者のデジタルスキル習得をどう促進していくのか?

能力開発課長 離職者が希望に沿った訓練を早く受講できるように、委託訓練は毎月多様なコースを開講している。今後も離職者のデジタルスキルの習得機会を拡充することで、再就職を支援する。

中小企業等への経営継続・改善支援

石井 伴走型経営支援特別貸付と同程度の支援を促す中小企業等における経営改善・成長力強化への支援に注目している。成長見込みのある企業の後押しを。

産業振興局長 地域活力の源泉である中小企業の経営の安定と革新が欠かせない。金融機関と手を携えて中小企業の事業の継続と成長をしっかりと支えていく。

サイクルツーリズム推進による観光振興

石井 サイクルスポーツとにかくいざり組み合わせたサイクルツーリズムの推進について、令和4年度どのように取り組むのか?

観光推進課長 サイクルツーリズムを体験型観光の一つに位置づけ、今年度までに五国を楽しみながら周遊する6コースを開発した。4年度はコースの観光商品化と販路拡大を進める。



石井 本年9月11日に六甲有馬ヒルクライムフェスタ2022が開催される。そこで、サイクルツーリズムを通して六甲山・有馬温泉の魅力を国内外にどう発信し、誘客につなげていくのか?

観光局長 今年夏のプレ・デスティネーションキャンペーンの参画イベントに位置づけ、SNSなど広域の広報媒体で発信して誘客促進を図る。今後のフェスタの展開の方向も踏まえながら、温泉やサイクルツーリズムを基軸に、周遊ルートの開発を提案、支援していく。

教育委員会（3月14日）

学校施設の環境改善

石井 県立学校の体育館ではLED照明の実績は既にあるようだが、校舎全体のLED化についても促進していく時期に来ているのではないか?

財務課長 昨年モデル的に4校の普通教室をLED化して、整備費と電力削減効果を検証している。今後、整備手法をリース方式とするのか、直接工事とするのかなどについて、調査結果も含め、総合的に検討し、学校施設のLED化を検討する。

県立高校の老朽化対策

石井 多数の学校で老朽化が進んでいる。2017年度から2021年度の5ヵ年計画を策定し、長寿命化改修を中心とした老朽化対策を進めてきたが、令和3年度が計画年度の終期に当たる。そこで、これまでの取組内容と進捗状況を伺う。

教育次長 計画32校に対して実績12校となった。現在、第2期計画を策定中である。限られた予算で多くの学校が整備できるよう、外壁や屋上防水などの耐久性を向上する工事等を優先したいと考えている。

競技スポーツ予算の拡充

石井 4年度から10年間の第2期県スポーツ推進計画がスタートする。そこで、競技スポーツ予算を充実する考えは?

スポーツ振興課長 県の財政状況が厳しいことを踏まえ、支援の重点化を行う。トップ指導者の育成に重点配分する方向で協議している。

今後の神戸マラソンの運営

石井 今年11月20日の第10回神戸マラソンを最後に県は主催者から協賛者になる。これを機に開催経費のあり方を検討すべき。支出についても工夫して削減できると思う。また、他競技との連携、併催も検討すべきではないか。

スポーツ振興課長 経費削減や協賛金等の確保に努め、安全対策も取りながら、安全・安心な大会を目指す。他競技との連携、併催は様々な可能性を検討したが、現行の実施方法が最善であると考えている。今後とも大会の新たな魅力づくりに、県としても協力する。



予算特別委員会の閉会にあたり、委員長とともに副委員長として挨拶

今回、質疑の一部を掲載しましたが予算特別委員会審議中継及び議事録は、私のホームページにアップしていますので、是非ご覧ください。

石井ひでたけ 検索



朝の駅立ち・道路立ち 20年 2,000回を達成!

石井ひでたけ プロフィール

昭和41年4月15日生まれ
B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学(現兵庫県立大学)卒、サラリーマン生活を経て、阪神淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選平成19年・23年・27年・31年 再選



公式サイトは
こちら▼



自民党兵庫議員団
公式サイトはこちら▼



月曜 県政相談会

毎週月曜日の10時から12時まで伊川谷事務所にて「県政相談会」を開催しています。どんどんご意見・ご要望お寄せください。



伊川谷事務所

〒651-2113

神戸市西区伊川谷町有瀬537-3

TEL 078-978-0667

E-mail:ishiihidetake@gmail.com

石井ひでたけ 事務所

玉津事務所

〒651-2133

神戸市西区枝吉1-215

TEL 078-920-2200

WEB:https://ishiihidetake.info